

環境経営リポート

作成 2024年6月10日

対象期間 2023年5月～2024年4月

日之影建設株式会社

《 目 次 》

| | |
|--|---|
| 1. 事業概要 | 2 |
| 1) 事業者名及び代表者 | 2 |
| 2) 所在地 | 2 |
| 3) 環境管理責任者 | 2 |
| 4) 連絡先 | 2 |
| 5) 対象範囲 | 2 |
| 6) 事業規模 | 2 |
| 7) 組織図 | 2 |
| 2. 実施体制 | 3 |
| 3. 環境経営方針 | 4 |
| 4. 環境経営目標 | 5 |
| 5. 環境経営目標の実績 | 5 |
| 6. 環境経営計画の取組結果とその評価 | 6 |
| 7. 次年度の目標 | 7 |
| 7. 次年度の計画 | 8 |
| 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無 | 9 |
| 9. 代表者による全体評価と見直しの結果 | 9 |

1. 事業概要

1) 事業者名及び代表者名

日之影建設株式会社
代表取締役社長 甲斐友康

2) 所在地

本社 〒882-0401 宮崎県西臼杵郡日之影町大字七折3455番地56
工場 〒882-0401 宮崎県西臼杵郡日之影町大字七折10203番地1

3) 環境管理責任者

EA-21責任者 : 甲斐友康

4) 連絡先

連絡担当者 : 甲斐友康 (EA21責任者)
TEL : 0982-87-2032
FAX : 0982-87-2035
E-mail: hkk-1252@ma.wainet.ne.jp

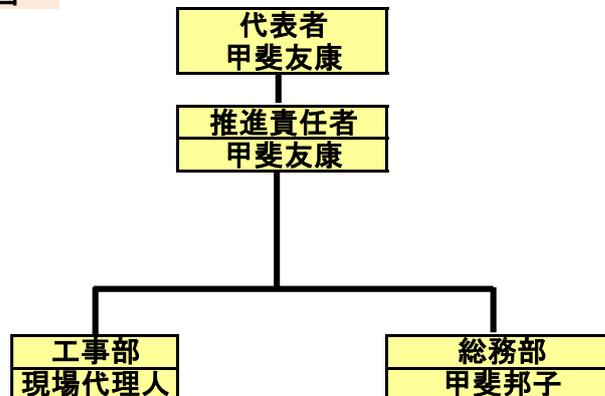
5) 対象範囲・・・(全社・全活動)

- ・対象組織 …………… 本社、工場
- ・対象活動 …………… 建設業
(土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、舗装工事、解体工事)

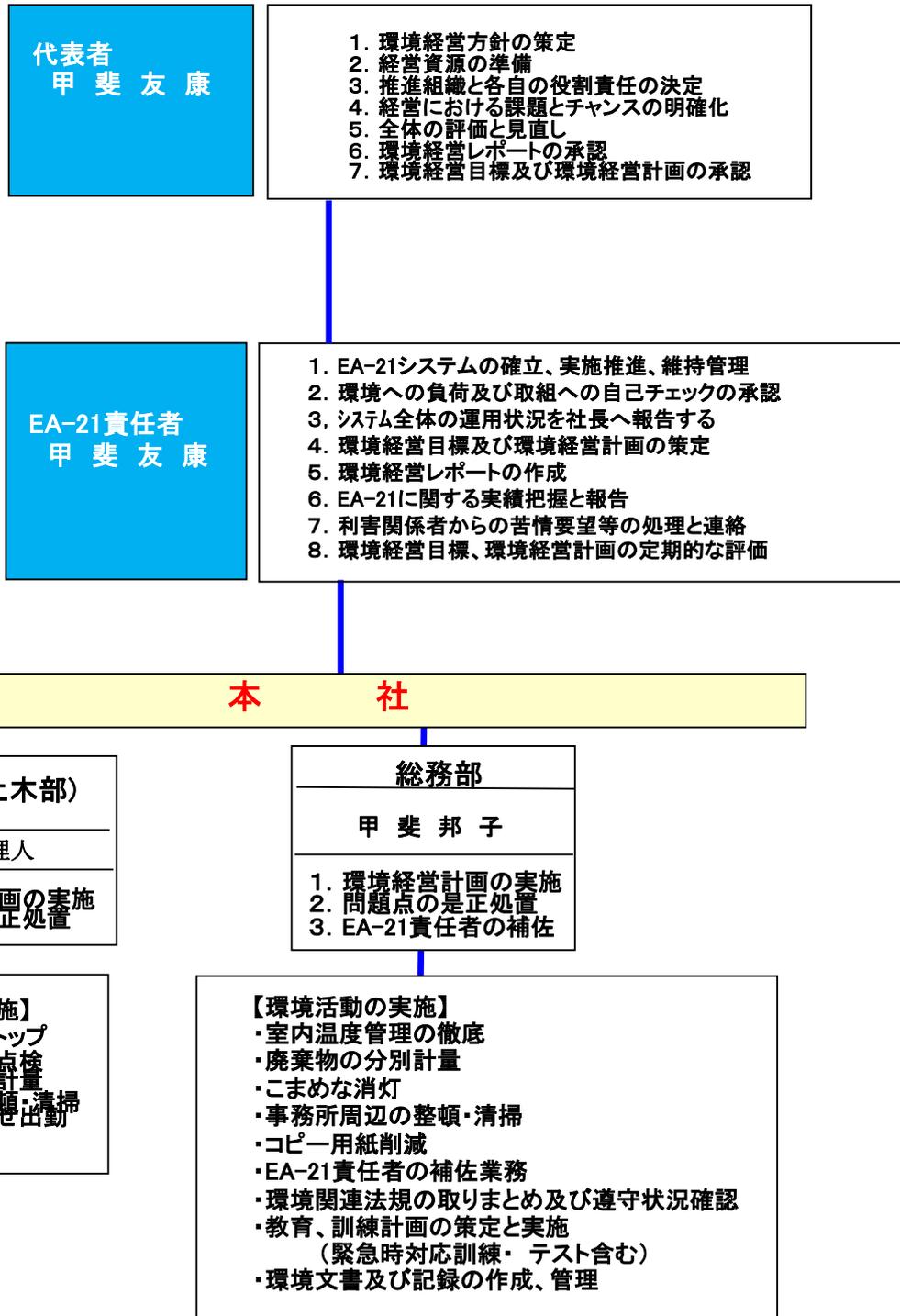
6) 事業規模

| 活動規模 | 単位 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
|------------|----------------|-------|-------|-------|
| 工事等の件数 | 件 | 3 | 3 | 3 |
| 従業員 | 人 | 8 | 6 | 6 |
| 事務所床面積 | m ² | 119 | 119 | 119 |
| 倉庫床面積 | m ² | 120 | 120 | 120 |
| 資機材置場面積 | m ² | 420 | 420 | 420 |
| 工場・作業所等床面積 | m ² | 50 | 50 | 50 |

7) 組織図



2. 実施体制



環境経営方針

経営理念

私達は、将来の子供たちのために、あらゆる方向性の1つとして地球環境、温暖化防止に努めるために、会社としての責任をまっとうすべく、環境対策に全力で取り組み、循環型社会の構築を目指します。

基本方針

1. わが社は、設計・土木工事において環境における循環型社会の構築を目指すために継続的な改善に努めます。
2. 関連する環境の法規制を遵守します。
3. 環境に与える影響を削減する為、**次の項目を重点事項として優先的に取り組みます。**
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
 - ② 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
 - ③ 節水活動による水使用量の削減
 - ④ 環境に配慮した施工方法の推進
 - ⑤ 創意工夫や新技術活用による安全且つ効率的施工の推進
4. 地域の社会貢献に積極的に参加します。
5. 社会に根差した会社を目指す。

この環境方針は、当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に開示します。

制定日 2021年5月10日

日之影建設株式会社

代表取締役社長

甲斐友康

4. 環境経営目標

| 取組み項目 (目標項目)(単位) | 実施区 | 年度別環境目標 | | | | |
|----------------------------------|--------------------------------|------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|------|
| | | 基準値 (2022年の実績と前回までの基準値参考) | 2023年度 (2023年5月～ 2024年4月) | 2024年度 (2024年5月～ 2025年4月) | 2025年度 (2025年5月～ 2026年4月) | |
| 1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2) | 全社 | 52,843 | 52,579 | 52,315 | 52,050 | |
| ①電気使用量の削減 (kWh) | 事務所 | 3,900.0 | 3,881 | 3,861 | 3,842 | |
| | 現場 | 2,950.0 | 2,935 | 2,921 | 2,906 | |
| ②ガソリン使用量の削減 (L) | 事務所 | 1,960.0 | 1,950 | 1,940 | 1,931 | |
| | 現場 | 4,910.0 | 4,885 | 4,861 | 4,836 | |
| | 全体 | 15,000.0 | 14,925 | 14,850 | 14,775 | |
| ③軽油使用量の削減 (L) | 現場 | 380.0 | 378 | 376 | 374 | |
| ④灯油消費量の削減 (L) | 事務所 | 380.0 | 378 | 376 | 374 | |
| 2 削減 の 廃 棄 物 の | ①. 一般廃棄物の削減 (kg) (最終処分量の削減) | 全体 | 100.0 | 99.5 | 99.0 | 98.5 |
| | ②. 建設副産物の再資源化 | 現場 | 95.0 | 再資源量÷総排出量×100 = 95%以上 | | |
| 3. 水資源使用量の削減 (m3) | 事務所 | 40.0 | 39.8 | 39.6 | 39.4 | |
| 4. 環境に配慮した施工方法の推進 | 現場 | 環境経営計画順守 | | | | |
| 5. 創意工夫や新技術活用による安全且つ効率的施工の推進 | 現場 | 環境経営計画順守 | | | | |
| 6. 環境保全の取組推進 (ボランティア活動の実施) | 全体 | 4回 | 4回/年 | 4回/年 | 4回/年 | |

- * 建設副産物の再資源化率は再資源化量÷総排出量×100
- * 建設現場で使用する水は事務所から運搬するため、事務所で集計しています。

5.環境経営目標の実績

* 2022年5月から2023年4月までの1年間の実績は以下のとおりです。

| 取組み項目 | 実施区 | 目標値 | 実績 | 達成率 | 評価 | |
|--------------------------------|----------------------|----------|----------|--------|--------|---|
| 二酸化炭素排出量(kg-CO2) | 全社 | 52,579.0 | 25,553.3 | 205.8% | ○ | |
| ①電力使用量の削減 (kWh) | 事務所 | 3,881.0 | 3,470.0 | 111.8% | ○ | |
| | 現場 | 2,935.0 | 1,132.0 | 259.3% | ○ | |
| ②ガソリン使用量の削減 (L) | 事務所 | 1,950.0 | 284.0 | 686.6% | ○ | |
| | 全社 | 4,885.0 | 1,416.0 | 345.0% | ○ | |
| ③軽油使用量の削減 (L) | 現場 | 14,925.0 | 7,632.0 | 195.6% | ○ | |
| ④灯油使用量の削減 (L) | 事務所 | 378.0 | 390.0 | 96.9% | × | |
| 2 削減 の 廃 棄 物 | ①. 一般廃棄物の削減 (kg) | 全社 | 99.5 | 45 | 221.1% | ○ |
| | ②. 建設副産物の再資源化率向上 (%) | 現場 | 95%以上 | 96.7% | 100.0% | ○ |
| 3. 水資源使用量の削減 (m ³) | 全社 | 39.8 | 24.0 | 165.8% | ○ | |
| 4. 環境に配慮した施工方法の推進 | 現場 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 5. 創意工夫や新技術活用による安全且つ効率的施工の推進 | 現場 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 6. 環境保全の取組推進 (ボランティア活動の実施) | 全社 | 4回以上/年 | 12回/年 | 300.0% | ○ | |

- * 環境配慮型工法の推進は、当該負荷の削減に資する『環境活動計画の実施状況』を目標としています
- * 購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の 0.463使用しています。

6.環境経営計画と取組結果及びその評価

| 取組項目 | 活動内容 | 責任区 | 取組状況 | 評価 |
|----------------------------|---------------------------------|------|---|----|
| ・電気使用量の削減 | ①不在箇所、昼休みなどの電気消灯 | 総務部門 | ①電気の消灯は確実に実行されている | ○ |
| | ②空調温度管理(設定温度遵守) | | ②夏28度冬20度に設定しているが冬は20度では厳しいのでストーブを使うようにしている | ○ |
| | ③蛍光灯やエアコンフィルターの定期清掃 | | ③蛍光灯は隔月に清掃し、6月にエアコンフィルターの清掃を実施した | ○ |
| ・ガソリン使用量の削減 | ①エコドライブの徹底(アイドリングストップ・ニュートラル走行) | 総務部門 | ①エコドライブは定着してきたため、事前段取りを徹底させたい | ○ |
| | ②車両管理の徹底(運行日誌) | | ②運行日誌の記帳は定着している。 | ○ |
| ・軽油使用量の削減 | ①エコドライブの徹底(アイドリングストップなど) | 工事部門 | ①エコドライブは実行されている | ○ |
| | ②重機のアクセル8割運動 | | ②重機のアクセル8割運動は工事の内容にもよるが、ほぼ出来ている。 | ○ |
| | ③重機の定期点検整備の実施 | | ③重機の点検も確実にやっている | ○ |
| | ④効率の良い配車(相乗り・配車スケジュール) | | ④相乗りも確実にやっているが、段取りを良くしたい | ○ |
| ・灯油の削減 | ①室内温度管理の徹底 | 全部門 | ①温度を確認しながらエアコンを使用するようにしている | ○ |
| | ②不在時のストーブの消火 | | ②不在時ストーブを点火したままでは危険でもあり確実にやっていきたい | ○ |
| ・一般廃棄物の削減 | ①廃棄物の分別計量と記録 | 総務部門 | ①分別計量と記録はできている | ○ |
| | ②ゴミの入り口管理の徹底 | | ②個人のごみは個人で処理するようにしている。 | ○ |
| | ③コピー用紙などの節減(ペーパレス化・裏紙使用など) | | ③裏紙使用はできているが印刷の間違いが多い | ○ |
| | ④資材梱包材の業者持帰り依頼 | | ④コピーナ容器や用紙のダンボールなどは業者へ持ち帰りを依頼している。 | ○ |
| ・建設副産物の再資源化率の向上 | ①リサイクル可能物の分別廃棄 | 工事部門 | ①分別廃棄はできている | ○ |
| | ②リサイクル業者へ廃棄依頼 | | ②リサイクル業者へ廃棄依頼をしている | ○ |
| | ③仕様書や在庫確認後の資材発注 | | ③商品などの発注時は在庫を確認して発注している。 | ○ |
| ・水資源使用量の削減 | ①定期的な漏水点検 | 総務部門 | ①漏水点検は3ヶ月毎に実施している | ○ |
| ・グリーン購入の促進 | ①商品購入時は可能な限りエコ対象品を購入する | 総務部門 | ①できるだけグリーン購入している | ○ |
| | ②資材発注時は再生資材の有無確認 | | ②発注時はカタログ等で同等のエコ商品が無いかを確認して発注している。 | ○ |
| ・環境配慮型工法の提案 | ①環境配慮型重機の使用 | 総務部門 | ①3次規制の重機を1台使用している | ○ |
| | ②計画的資材仕入による余剰材発生防止 | 工事部門 | ②余剰材防止に努めている | ○ |
| | ③工期短縮の為の創意工夫 | 設計部門 | ③各現場とも工期短縮の創意工夫をしている | ○ |
| ・創意工夫や新技術活用による安全且つ効率的施工の推進 | ①安全に関する新技術の活用 | 工事部門 | ①安全施設のNETIS登録の活用 | ○ |
| | ②創意工夫による効率的な施工の推進 | 工事部門 | ②残存型枠などの少人数での施工 | ○ |
| | ③新技術の確認 | 総務部門 | ③インターネットによる確認 | ○ |
| ・環境保全の取組推進 | ①事務所周辺の清掃活動 | 総務部門 | ①周辺の清掃は行っている | ○ |
| | ②現場周辺の溝清掃 | | ②現場周辺の清掃も行っている | ○ |
| | ③地域ボランティア活動参加 | | ③地域のボランティア活動も行っている | ○ |

評価・・・○=ほぼ全員・全箇所を実施している。△=実施している場合や未実施の箇所などがある。×=まだほとんどが出来ていない

7.環境経営目標（第五次中期目標）

| 取組み項目 (目標項目)(単位) | 実施区 | 年 度 別 環 境 目 標 | | | | |
|------------------------------|--------------------------------|------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|------|
| | | 基準値 (2022年の実績と前回までの基準値参考) | 2023年度 (2023年5月～ 2024年4月) | 2024年度 (2024年5月～ 2025年4月) | 2025年度 (2025年5月～ 2026年4月) | |
| 1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2) | 全社 | 52,843 | 52,579 | 52,315 | 52,050 | |
| ①電気使用量の削減 (kWh) | | | 基準比0.5%削減 | 基準比 1.0%削減 | 基準比 1.5%削減 | |
| | 事務所 | 3,900.0 | 3,881 | 3,861 | 3,842 | |
| ②ガソリン使用量の削減 (L) | | | 基準比0.5%削減 | 基準比 1.0%削減 | 基準比 1.5%削減 | |
| | 事務所 | 2,950.0 | 2,935 | 2,921 | 2,906 | |
| | 現場 | 1,960.0 | 1,950 | 1,940 | 1,931 | |
| | 全体 | 4,910.0 | 4,885 | 4,861 | 4,836 | |
| ③軽油使用量の削減 (L) | 現場 | 15,000.0 | 14,925 | 14,850 | 14,775 | |
| ④灯油消費量の削減 (L) | | | 基準比0.5%削減 | 基準比 1.0%削減 | 基準比 1.5%削減 | |
| | 事務所 | 380.0 | 378 | 376 | 374 | |
| 2 削減 物の | ①. 一般廃棄物の削減 (kg) (最終処分量の削減) | 全体 | 100.0 | 99.5 | 99.0 | 98.5 |
| | ②. 建設副産物の再資源化 | 現場 | 95.0 | 再資源量÷総排出量×100 = 95%以上 | | |
| 3. 水資源使用量の削減 (m3) | | | 基準比0.5%削減 | 基準比 1.0%削減 | 基準比 1.5%削減 | |
| | 事務所 | 40.0 | 39.8 | 39.6 | 39.4 | |
| 4. 環境に配慮した施工方法の推進 | 現場 | 環境経営計画順守 | | | | |
| 5. 創意工夫や新技術活用による安全且つ効率的施工の推進 | 現場 | 環境経営計画順守 | | | | |
| 6. 環境保全の取組推進 (ボランティア活動の実施) | 全体 | 4回 | 4回/年 | 4回/年 | 4回/年 | |

改訂 2013年5月2日 ①.基準値を2011年度と2012年度の実績の平均値としました
②.電気の二酸化炭素排出係数は0.525としました

改訂 2014年5月10日 ①2016年度目標を追加
②現場の軽油は環境活動の実施状況を評価する

改訂 2017年5月10日 ①第三次中期目標を設定しました。
②電気の二酸化炭素排出係数は0.509としました。

改訂 2020年5月15日 ①第四次中期目標を設定しました。
②軽油の目標設定を大幅に変更しました
③電気と軽油の排出係数を見直しました

改訂 2023年5月21日 ①第五次中期目標を設定しました。

| | | | | 係数 |
|------|-----|--------|------|-------|
| 購入電力 | kWh | 0.462 | 1 | 0.463 |
| ガソリン | L | 0.0671 | 34.6 | 2.320 |
| 灯油 | L | 0.0679 | 36.7 | 2.490 |
| 軽油 | L | 0.0675 | 38.2 | 2.580 |

7.次年度の経営計画

| 取組項目 | 次年度の取組内容 |
|----------------------------|-----------------------------------|
| ・電気使用量の削減 | ①不在箇所、昼休みなどの電気消灯 |
| | ②空調温度管理(設定温度遵守) |
| | ③蛍光灯やエアコンフィルターの定期清掃 |
| ・ガソリン使用量の削減 | ①エコドライブの徹底(アイドリングストップなど) |
| | ②車両管理の徹底(運行日誌) |
| | ③Uターン防止のため、事前段取りを徹底する |
| ・軽油使用量の削減 | ①エコドライブの徹底(アイドリングストップなど) |
| | ②重機はできるだけフルパワー操作をしない(アクセル8割運動の展開) |
| | ③重機の定期点検整備の実施 |
| | ④効率の良い配車(相乗り、配車スケジュール) |
| ・灯油使用量の削減 | ①室内温度管理の徹底 |
| | ②不在時のストーブの消火 |
| ・一般廃棄物の削減 | ①廃棄物の分別による最終処分量の削減 |
| | ②ゴミの入口管理の徹底 |
| | ③コピー用紙などの節減(ペーパーレス化・裏紙使用など) |
| | ④資材梱包材の業者持帰り依頼 |
| ・建設副産物の リサイクル率の向上 | ①リサイクルの為の分別をする |
| | ②廃棄はリサイクル業者へ依頼する |
| | ③仕様書や在庫確認後に資材発注をする |
| ・水資源使用量の削減 | ①定期的な漏水点検 |
| | |
| ・グリーン購入の促進 | ①商品購入時はエコ対象品を購入する |
| | ②資材発注時は同等の再生資材の有無を確認する |
| ・環境配慮型工法の提案 | ①環境配慮型重機の使用 |
| | ②計画的資材仕入による余剰材発生防止 |
| | ③工期短縮のための創意工夫する |
| ・創意工夫や新技術活用による安全且つ効率的施工の推進 | ①安全に関する新技術の活用 |
| | ②創意工夫による効率的な施工の推進 |
| | ③新技術の確認 |
| ・環境保全の取組推進 | ①事務所周辺の清掃活動 |
| | ②現場周辺の溝清掃 |
| | ③地域ボランティア活動参加 |

8.環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業に関係する主な環境関連法規は下記のとおりです。
担当者が定期的に日建連のURLで確認しています。
尚、関連法規制の遵守状況確認を実施した結果、違反はありませんでした。
また、関係当局からの指摘、及び地域住民からの訴訟もありませんでした。
現場での遵守状況は、安全パトロールや安全会議時などで確認しています

関連法規一覧

| | | | | | |
|--------------------|----------|----------|---------------|----------|-------------------|
| 廃棄物処理法 | 建設リサイクル法 | 家電リサイクル法 | 小型家電リサイクル法 | オフロード法 | 騒音規制法 |
| 振動規制法 | 浄化槽法 | 土壤汚染対策法 | 水質汚濁防止に関する同意書 | フロン排出規制法 | 汚染土壌の運搬に関するガイドライン |
| 汚染土壌の処理業に関するガイドライン | | | | | |

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

前年度は受注高が少なかったために全体としては達成率が高かったが
今年度は仕事量が増えるのでより効率よく運用できるようにしたい